

栗原市からいただいた
ご指摘について

平成26年6月16日

環境省

平成26年6月9日に開催されました第2回宮城県指定廃棄物処分場の詳細調査候補地に係る関係者会談において、栗原市からいただいた主なご指摘は以下のとおりと考えております。

	ご指摘	ページ
1	岩手・宮城内陸地震による大きな被害を受けている地域であり、候補地としては不適切ではないでしょうか。	1

第2回関係者会談で栗原市からいただいた主なご指摘について、環境省の考え方は以下のとおりです。

1. 岩手・宮城内陸地震による大きな被害を受けている地域であり、候補地としては不適切ではないでしょうか。

【環境省の考え方】

環境省では、市町村長会議で確定した宮城県における候補地の選定手法にしたがって、正確かつ確実に選定作業を行い、その結果として詳細調査の候補地をお示ししています。

また、今後、詳細調査の実施に際しては、市町からのご指摘事項を含めて具体的な調査に活かしていきたいと考えております。また、市町が持つておられる知見についてもご提供いただければ大変ありがたく思います。

【これまでの回答】

選定手法において定めた評価に用いるデータについては、既存の知見で地図情報として全国的に整備され、一律に評価できるものを採用することを基本的な考え方としています。

選定にあたっては、この基本的な考え方のもとで、既存のデータを用いて、土砂災害の危険性の高い場所を除外しております。具体的には、候補地そのものについて、地すべり危険箇所、地すべり地形箇所、砂防指定地、急傾斜地崩壊危険箇所、深層崩壊溪流区域(相対的な危険度の高い溪流)、土石流危険区域、土石流危険溪流、活断層・推定活断層に該当しているか確認しておりますが、深山嶽の候補地はこれらの除外する地域に該当しておりません。

また、今回の選定手法には入っておりませんが、岩手・宮城内陸地震で被害を受けた主要な地域(出典:栗駒山麓崩落地・景観活用将来ビジョン[栗原市])や岩手・宮城内陸地震の推定活断層(出典:平成20年(2008年)岩手・宮城内陸地震1:25000詳細活断層図(活断層・地形分類及び地形の変状)について[国土地理院])の資料を確認したところ、候補地内に推定活断層は確認されませんでした。

他方で、候補地は岩手・宮城内陸地震で被害を受けた地域に近く、地すべりの影響を十分に評価することが必要と考えております。このため、既存の知見に加え、詳細調査の実施を通じて、さらに科学的・技術的観点から必要となる文献調査や候補地におけるボーリング調査などにより、候補地及びその周辺についても可能な範囲で地質・地盤性状に関する詳細なデータ等の追加的な情報を得て、改めて有識者会議において安全性を評価した上で、ご説明したいと考えております。詳細調査の実施にご理解いただきたいと考えております。